

2月は世界理解推進月間です  
THE WEEKLY REPORT

RI 第2820地区

# 水海道ロータリークラブ

2010-2011年度 テーマ

見つめなおそう ローターの心  
つくろう 新たな未来を



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 RI会長  
レイ・クリンギンスミス

次回例会予定 2月9日 国際奉仕委員会フォーラム  
2月16日 移動例会(2月20日 IM)

VOL. 48 No. 25 (通算No. 2266)

## 2011年2月2日(水)例会プログラム

点 鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

会員卓話

北村 仁会員



「紅 梅」

写真提供:大塚令昌会員

2010-2011年度

会長 白井

豊

幹事 大塚令昌

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

## 2月は世界理解推進月間です THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.48 No.24 (No.2265) 1月26日(水)晴れ (司会 北村陽太郎委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆外部卓話

第2820地区 社会奉仕総括委員長 鈴木 豊様

### ビ ジ タ ー

第7分区ガバナー補佐 池田正純様(牛久ロータリークラブ)

第7分区ガバナー補佐セクレタリー 久地岡教雄様(牛久ロータリークラブ)

### 誕 生 祝

〈配偶者〉鈴木(茂)会員 染谷(昭)会員 北村(仁)会員

### IM開催に向けて 第7分区ガバナー補佐セクレタリー 久地岡教雄様



第2820地区第7分区のロータリアンの皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

ご案内の通り、ロータリークラブは奉仕をする人の集まりであると定義され、会員はそれぞれに自分がどのような形で他の人の役にたてるかということを考え実践しておりますが、それを近隣のクラブが集まって実践しようという見地から毎年一回「Intercity Meeting」という会合を開きます。今年度は牛久ロータリークラブがその担当となりました。

山崎ガバナー、清水 清リーダーのご指導のもと、意義あるIMになるようにホストクラブである牛久ロータリークラブは、総力をあげて準備に取り組んでおります。

第1部の特別講演は、かけがえのない地球の環境を守る取り組みの一環として、牛久漁業組合長の堤氏とエイチャリストのケビンショート氏にお話を伺います。

第2部の懇親会では、友情と親睦を一層深めていただくように、話し合いの場を設けました。

この度のIMが皆様のご参加により盛会となりますよう念願するところであります。そのためにすべてのロータリアンがご参加下さるよう心からお願い申し上げます。

### 幹 事 報 告 大塚令昌幹事

週報受理クラブ 水戸RC、水戸東RC

例会変更通知 牛久RC 2月21日(月)→2月20日(日)IM開催 レイクサイドつくば

先週オーストラリア洪水義援金10万円をツウンバからの交換学生にお願いしました。ティム・デイビスさんよりメールが届きました。

「日本を十分楽しんで無事安全に帰国しました。色々とお世話いただきありがとうございました。我々の洪水義援金に寄付頂き感謝申し上げます。」 (北村英明会員夫人による訳)

### 会 長 挨 拶 白井 豊会長



皆さん、こんにちは。

今日の例会には、来月のIMの前段として、池田ガバナー補佐と久地岡幹事にご訪問いただきました。会員一同ご歓迎申し上げます。

毎日気温は低いですが、風がなければ陽射しの温かい穏やかな冬の日が続いております。この辺りは雪も降らず、少し降れば子供たちも喜びそうですが、日本海側では雪かきによる死者も大勢いるようです。

アメリカの絵本作家に バージニア・リー・バートン という人がいます。「ちい

## 2月は世界理解推進月間です THE WEEKLY REPORT

さいおうち」という絵本が有名でご存知の方もいらっしゃるかと思います。この人の書いた「はたらきもののじよせつしゃ けいていー」という絵本は、今でも我が家の人気の絵本で、冬になるとボロボロになった絵本ですが、懐かしく読まれています。厳しい自然の中でもたくましく生活している人々には頭が下がる思いです。

さて、ここまではクラブ内の行事が中心でありましたが、来月のIMを皮切りに、分区、そして地区の行事が推して参ります。

また、クラブ内では社会奉仕委員会による「つくばみらい市」に公共用の椅子の贈呈等、最後の懸案事項が山積みとなっております。この後、当クラブから出ている地区の社会奉仕総括委員長に卓話をお願いしております。鈴木さん、どうぞよろしく申し上げます。

会員皆様方の更なるご協力をお願い致しまして挨拶を終わります。

### 外部卓話 社会奉仕とは！！ 第2820地区 社会奉仕総括委員長 鈴木 豊様



#### RIテーマ

「地域を育み 大陸をつなぐ」→ レイ・クリンギンスミスRI会長

- ・社会奉仕は前半部分の重要な担い手として重要な位置。
- ・四大奉仕部門→五大奉仕部門(新世代奉仕の追加)[2010年規定審議会4月]
- ・RI会長強調事項 8-⑥→経済と地域社会の発展(社会奉仕の重要性)

#### 地区目標

- ・奉仕プロジェクト1クラブ1プロジェクト(10-⑦)
- ・RI会長賞に挑戦(10-8)→クラブ会長と協議のうえ社会奉仕の実践

#### 社会奉仕の歴史

- ・社会奉仕の始まり→シカゴ中心部に公衆用便所の設置(1907)
- ・1905～1923頃 職業奉仕と社会奉仕との思想対立・分裂の危機

#### 決議 23-34

- ・1923年の声明(セントルイス国際大会に提出された第34議案)
- ・分裂危機の救世主→ロータリーが成人に達した瞬間
- ・同時期(大正12年9月)、関東大震災⇒日本のロータリー活動の芽生え
- ・人生哲学-奉仕するもの行動すべし-奉仕の理論の実践(社会奉仕の原点)  
(入りて学び、出でて奉仕せよ！！)

#### 社会奉仕

- ・ロータリーを一つの生命体とすればその心臓の鼓動。
- ・クラブに入門してロータリー哲学を学びながら、自分を高めることから始め社会に向かって奉仕する喜びを味わう
- ・地域社会(国際)の人々の生活の質を向上させるために行う社会奉仕プロジェクトを実践
- ・地域社会で最も必要かつ緊急性を調査⇒計画、実行(地域密着型奉仕活動)
- ・「ために」⇒「ともに」 高齢者・弱者の目線(善意と思いやり)
- ・クラブ全員参加の奉仕⇒効果的なクラブ

## 2月是世界理解推進月間です THE WEEKLY REPORT

### 広報

- ・公共的イメージを高める
- ・社会の認知度の向上

ロータリーロゴの活用、ロータリーブランドの向上と広報マスコミの利用(新聞、HP)  
地区広報委員長に報告、ロータリーの友等

### DDF(地区財団活動資金)の活用

- ・人道的プロジェクトへの参加、実施に使用。
- ・31,000ドル→(1,000ドル～2,000ドルの範囲)  
(事業費の約25%が目安)  
(10%は会員数の少ないクラブが活用)

### 活動の主体

- ・クラブ、ロータリアン個人にあります。
- ・トップダウンではなく、ボトムアップでクラブの活性化。

### 地区として

- ・情報の共有化、交換の場
- ・DDF申請の手助け等

### 出席報告 (古谷榮一委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	50名	7名	0名	7名	100.00%

#### ニコニコボックス 北村英明委員長

入金計 ￥49,000 累計 ￥1,476,000

誕生祝御礼《配偶者》鈴木(茂)・染谷(昭)・北村(仁) 各会員

池田ガバナー補佐、久地岡ガバナー補佐幹事、ようこそいらっしゃいました。IMのご指導宜しくお願ひ致します。 白井会員

池田ガバナー補佐、久地岡ガバナー補佐幹事、ようこそいらっしゃいました。 田上会員

今日、卓話をさせていただきます。宜しくお願ひ致します。 鈴木(豊)会員

休みが続きました。交換学生事業ではホストファミリーの皆様、国際奉仕委員会の皆様、並びに関連された会員の皆様、大変お疲れ様でした。 石塚(克)会員

ツウンバRCから感謝されました。 隅屋会員

先週、ツウンバの留学生の皆さんからプレゼントを頂きました。 倉持会員

鈴木 豊様、本日卓話ありがとうございます。 山野井会員

祝、韓国戦勝利。産業界も反転攻撃開始！ 青木(清)会員

休みが重なりました。本年もよろしく。 北村(仁)会員

その他 横山会員

早退します。 染谷(昭)・熊谷・松崎 各会員

例会欠席しました。 草間・武藤・五木田(裕)・染谷(正)・鈴木(茂) 各会員

会報委員会 秋田政夫委員長 石塚利明副委員長 穂戸田好範委員 石塚幸一郎委員